

もくじ

・ ゆきむすめ
雪娘ナターシャ

ゆきむすめ
雪娘ナターシャ

げんさく
原作：
せかい むかしばなし
世界の昔話

イラスト：kotokoto

へんしゅう
編集：
YellowBirdProject

むかし、北の国きたくにの小さな村ちいむらに、イワンとマーシャという、一組ひとりみの夫婦ふうふが住んでいました。二人は結婚けっこんしてからしばらく経たっていましたが、まだ子どもがいませんでした。

ある、冬ふゆの日ひの朝あさ。二人は家の窓ふたりから、外そとで楽たのしそうに雪遊びゆきあそをしている、近所きんじょの子どもたちをながめていました。ふと、イワンが立ち上がりました。

「なあマーシャ、雪ゆきだるまつくを作つくるろう。雪遊びゆきあそでもすれば、少すこしは子どもこどもがいる気分きぶんを味わえるんじゃないか？」

「そうしましょうか。雪遊びゆきあそなんて、何年ぶりなんねんかしら」

さっそく二人は外そとに出て、家の前の雪ゆきを集めあつました。



「この子は、^{おんな}^こ女の子にしましょう」

できあがった雪だるまに、指で線を引いて顔を作り、最後に、赤い毛糸の帽子をかぶせました。

「名前は・・そうだな・・よし、『ナターシャ』

だ！」

「神様、どうかナターシャに、祝福を授けてください」

二人は雪の上にひざをついて、神様に深くお祈りをしました。

さて、次の日の朝。だれかが家のドアをたたきました。イワンがドアを開けると、そこにはかわいらしい女の子が立っていました。

